



TITLE:

[亀田治メモランダム  
]Memorandom2 (KDD本社) : 1975年  
7月1日-1976年8月3日

AUTHOR(S):

---

CITATION:

[亀田治メモランダム]Memorandom2 (KDD本社) : 1975年7月1日-1976年8月3日. CIAS discussion paper No.29 : <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 39-71

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228554>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

# Memorandum 2

(KDD 本社)

1975 年 7 月 1 日～1976 年 8 月 3 日

1975 年（昭和 50 年）

7 月

- 1 日  
(火)      ・ 午前，運転免許更新（小金井）.  
          ・ 沖－比－香ケーブル 建設保守協定のなかの，保守に関する問題につき，保全部，回統部と協議.  
          ・ (海) 亀田，小林，吉田，石井，(保) 諸岡，(回) 十二.  
          ・ 明日 2 日，国会衆院・通信委にて，KDD に対する質問があるので，その答弁資料を作成.
- 2 日  
(水)      ・ 中国との次回専門家会合を東京で開くため，SPT に対する招請電報を作成.
- 3 日  
(木)      ・ 沖－比－香ケーブル 東京会合打合せ. 14:30～17:00（国際部主催）  
          ・ 会合の進み方.  
          ・ 建設保守協定 案文.  
          ・ 6 月分建設推渉状況報告の検討.
- 4 日  
(金)      ・ 午前，志村取締役と KDD 丸にて，第 1 次改装，船上等化用設備を視察.  
          ・ 午後，技師長 主催，沖縄・苓北陸揚局 保守・運用打合せ. 14:00～16:30.  
          大島，小池，志村 各役員. 保全・回統・管理・総企・海技 各部長.
- 5 日  
(土)      ・ 東京会合 資料 準備.
- 6 日  
(日)      ・ 羽田空港へ，Mr. Powell 他を出迎え.
- 7 日  
(月)      ・ 沖－比－香，東京会合（第 1 回 調整委員会）.  
          技術分科会にて，協定 第 14 項の審議.  
          夜，副社長招宴.
- 8 日  
(火)      ・ OLH，調整委，全体会議に出席.（午後）.
- 9 日  
(水)      ・ 日中，技術専門家会議（東京，7/22～8/5）の対処方針案を作成.  
          OLH，調整委，全体会議.  
          ・ 研究所 鍛冶次長に Tel. 要員問題を協議.  
          松田次長に具体的相談に行かせることとする.
- 10 日  
(木)      ・ NEC，Tech. Spec. について，田畑氏と打合せ.（10:00～11:30）.  
          ・ NEC 斎藤，川辺氏ら，price informaiton をもってくる.  
          志村取締りに同席し，説明を受ける. なお，資料を要求し，明日受け取ることとする.  
          ・ OLH，調整委，全体会議. 16:00～18:00.  
          東京会合 終了.
- 11 日  
(金)      ・ 朝，Mr. Powell らを羽田まで送る.  
          ・ OLH，マニラ会合（7/14～7/17）の対処方針を作成，事案決定処理.  
          ・ 郵政省電監室 佐瀬参事官を訪れ，OLH 技術小委の報告と. マニラ会合のあいさつ.  
          ・ NEC 斎藤，川辺氏，price schedule を持参.
- 12 日      ・ マニラ会合の準備

- (土)
- 13 日     ・ 0-L-H 調整委員会 準備会合（マニラ）に出席のため、羽田出発。  
 (日)       長崎資材部長，織田業務部長，塚田課長，吉田課長 同行.
- 14 日 (月) ～16 日 (火)   会議.  
           7 月 15 日 (火) ， NEC, STC より Tender を受理.
- 17 日     帰着.  
 (木)
- 18 日     ・ 志村取締役会議況を報告.  
 (金)       ・ 織田部長と 次回調整委の準備作業につき協議.  
           ・ 海建本部 関係者に，次回調整委の準備のための所要作業を説明.  
             1. STC への質問.  
             2. 技術評価資料の作成.
- 19 日     休み.  
 (土)
- 21 日     ・ 人事異動（参事，副参事 クラス） 発令.  
 (月)       ・ マニラ会合の役員会報告作成.
- 22 日     ・ NEC 斎藤，田畑氏他を呼び，マニラ会合の状況を説明し，CW からの質問に対する回答の準備を要請.  
 (火)       ・ 陸揚局保守 に関する役員会説明。（回統部，保全部，海建本部）  
           松田次長に代理出席してもらう.  
           ・ 第 4 回 日中技術専門家会議に出席の SPT 代表団を羽田に出迎え.
- 23 日     ・ 日中技術専門家会議 開始.  
 (水)       (第 4 回)  
           ・ 第 2 回調整委員会（マニラ）の対処方針案を技師長，副社長，社長に説明.  
           ・ STC Tender の検討状況を担当者から聞く（ケーブル，中継器関係）.  
           ・ 人事問題で研究所鍛冶次長に Tel.  
           ・ 陸揚局保守の考え方の組合説明，（市原部長）松田次長に立会いを頼む.  
           ・ SPT 代表の技師長招宴.
- 24 日     ・ 役員会にて，沖－比－香ケーブル 第 2 回調整委の対処方針案を説明（関 業ム部長，  
 (木)       織田資材部長．と同席）. 前週の調整委準備会合報告は，時間の都合で説明省略.  
           ・ 午後，MPT 日高参事官に，沖－比－香ケーブルに関する報告（関，織田両部長と同行）.  
           ・ NEC と，CW，KDD の技術関係質問事項につき検討.
- 25 日     ・ 織田部長他関係者と，沖縄－ルソン間の KDD 丸による布設費の検討.  
 (金)       ・ ケーブル，中継器担当者と，NEC，STC 両提案の技術評価につき協議.  
           ・ STC に技術事項の質問を送付.  
           ・ 安藤電気 岡村社長 来訪.
- 26 日     ・ マニラにおける調整委員会の資料準備.  
 (土)       ・ NEC からの回答，Tender 正誤表のとりまとめを NEC と共に行なう.
- 27 日     ・ 沖－比－香 第 2 回調整委に出席のため，マニラに向け 羽田出発.

- (日) (志村取締役, 織田, 清水, 塚田, 石井, 亀田の6名).
- 28日(月)～8月2日(土) 第2回調整委員会 会合.
- ・調達問題につき 協議.
  - ・業者 折衝.
- 3日 (日) ・ excursion.
- ・建設保守協定の協議のため, 尾畑国際部長, 福地部長, 里見, 新井の4名マニラ到着.
- 4日(月)～8日(金) 第3回調整委員会 会合.
- ・建設保守協定に関する協議.
  - ・その間, 技術問題につき, Mr. Powell, Mr. Histed と話し合う.
- 9日 (土) ・ KLM863 便にて, 帰着.
- 11日 (月) ・ 志村取締役役, 尾畑, 福地, 織田 各部長と共に, マニラで行われた調整委員会の状況を副社長に報告. (10:30～11:30)
- ・マニラ会合の状況を, 技術部・建設部の関係者に説明し, 今後の所要作業について打合せ. (14:00～16:30)
  - ・沖縄海底線工事事務所に発令された, 線路課 小林(康)社員の歓送会に参加.
- 12日 (火) ・ 志村取締役以下, マニラ会合出席者で, 会合報告の検討. (10:00～11:30)
- ・上記報告を臨時関係役員会にて行なう (15:00～17:30).
  - ・NEC 田畑氏来訪: 沖-比-香ケーブルの諸問題について協議.
  - ・東北大穴山教授より Tel.
    - ・KDD への志望者多し, KDD の応募について, 状況を知りたい.
    - ・今年は例年より遅いが, 例年通り, 1名はすいせんを頂くことになろう.
  - 本年度の選考主任
    - ・大学院 : 穴山教授. (電器). 0222-22-1800(内 3223).
    - ・電気工学 : 虫明 //
    - ・電子 // : 柴田 //
    - ・通信 // : 竹田 //
  - ・佼成病院.
- 13日 (水) ・ 京極さん 来訪
- ・職員部 曾根課長補佐より, 東北大学へ来年度採用について, すいせん依頼を9月下旬～10月上旬に行ってほしいとのこと.
  - 石川君と相談.
- 14日 (木) ・ 新給与体制の説明を, 技術部管理者に行なう.
- 15日 ・ 沖-比-香ケーブル: 建設費の分担, 回線割当, 保守費の分担等につき, 基本(金的)了解が未解決のため, Letter of Intent の発出が遅れる.
- ・技術事項の処理は, そのまま進めることとする
- 16日 (土) 休み.
- 18日(月)～19日(火) 短期人間ドックに入る.

(中野佼成病院).

- 20 日 (水) ・ KEC 松岡理事より, 西独-スウェーデンケーブルの映画を見る件について Tel. あり, 日本語版を KDD 社内に見せる計画を建てたいとのこと.  
・ 吉田課長と, 0-L-H ケーブルの G/SG レギュレーションについて, KDD 意見を CW に Tel. ex する件の協議.
- 21 日 (木) ・ 富士通 新堀常務以下, デンマーク-ノルウェーケーブルを受注したことについて挨拶にくる.  
・ 東洋興信所より, 人事録掲載の勧誘, 断る.  
・ 石川, 柴田両君と懇談.
- 22 日 (金) ・ 執務月報 (4 月~7 月分) 作成, 提出.  
・ 日中ケーブル, 第 4 回技術専門家会議の報告書の承認を, 中国へ送信.  
・ 0-L-H ケーブル 第 2 回技術小委員会 (香港) の準備のため, メーカー, 資材部, 業務部等との打合せを計画するよう, 技術課長に指示.
- 25 日 (月) ・ 第 2 回技術小委員会 (香港) への出席に関する事案決定, 対処方針について, 技術課と協議.  
・ 午後, 原家告別式に参列のため早退.
- 26 日 (火) ・ 沖縄 - ルソン間の海洋調査結果について, 海洋課の報告をきく. (10:00~11:30).  
・ 志村取締役より, ジョルダンへの ITU 技術協力の専門家派遣について, 永田課長が候補に上っているので, 本人の意向を確かめるよう指示あり, 本人と昼食を共にし, 意向をきき, 志村取締役に報告.  
・ NEC と, 製造線表その他につき, 技術打合せ (14:15~16:30)  
メーカー 田畑, 奥村氏, KDD 亀田, 吉田, 永田, 松本, 石井.
- 27 日 (水) ・ 0LH ケーブル 第 2 回技術小委員会 (香港) の出席者についての 事案決定の処理を進める.  
・ 和田部長より, CS-12M 方式の開発を進めるに当り, 海建本部の専門家を参加させることについて, 協議あり, 了解する.  
・ 沖-比-香ケーブルのパイロットについて, 役員説明用の資料作成.
- 28 日 (木) ・ NEC 田畑氏より  
・ 製造工程表を, 再検討し, た. A5 等化器とケーブルの一部が, 3 月~4 月になるので, proposal で出した 18 ヶ月の納期を over する. Letter of Intent に対する返事を, 納期 18~20 月で出したい.  
・ 業ム, 資材の関係者 (塚田, 織田両氏) に協議し, 技術側としては極く 1 部の機材の納期が 4 月になっても, 工事上何ら支障はなく, 契約形式に合わせて, 不満足なものを作られるのは困る.  
よって, 本契約の際に一部に納期の特例を求めることを, 了承事項とするようにしたい.  
これを, ホンコンの技術会議で CW/ETPI の了解を得る.  
・ 以上を田畑氏に伝え, Letter of Intent の受領回答に, 18~20 ヶ月と述べることは, 大部分の機材が遅れる印象を与えるので誤解を招く恐れがある. 営業とも相談するよう話す.  
・ delivery schedule の作成について, 資材部長と協議.  
来週, 打合せることとする.
- 29 日 (金) ・ 0LH 第 2 回技術小委員会 (香港) の対処方針を役員会にかけるため, 技師長, 副社長, 社長に事前説明.  
・ 上記会合の資料準備について, 技術課長, 線路課長と協議.  
・ NEC 田畑氏より.

1. 契約に必要な技術仕様の作成について
  - ・KDD でも proposal を見直しているの、NEC の検討結果と合わせて来週打合せたい。
2. 納期の問題について、
  - ・18 ヶ月を守ることは、ケーブルが難しそう。
  - ・契約は一応 Proposal の通り、18 ヶ月で機材製造が終ることにし、今度の技術会議で、工事計画に合わせて納期を定め、それを19 ヶ月目、あるいは20 ヶ月目に指定する恰好にした方がよいのではないか。

## 9月

- 1 日 (月) ・永田課長をジョルダンへの ITU 技術協力専門家として、すいせんする事案が決定となる (海外協力室 所管)。志村取締役役に報告。  
・第2回技術小委員会 (香港) の出席者名を香港 CW に通知。
- 2 日 (火) ・役員会に沖 - ルソン - 香港ケーブル 第2回技術小委員会の対処方針を伺い 了。承さる  
・上記会合の準備打合せ：出席者他関係者。15:00~18:30。
- 3 日 (水) ・CW より、NEC に対する契約のための技術 spec. の改訂案 が TEL. EX で 来る。  
・NEC proposal の見直しについて、担当者と協議
- 4 日 (木) ・資材部主催で、NEC と沖 - 比 - 香ケーブルの契約書案について打合せ。(16:00 ~18:00)。
- 5 日 (金) ・契約書案のなかの、支払い条件の項について、塚田課長より問題点をきく。  
香港で、C- Stanton から CW 案をきき、対 STC と対 NEC の間に大きな差異があれば、東京に連絡し、必要あれば、C-Stanton から塚田課長に電話するよう求めることとする。  
・NEC-proposal の spec. 化について、関係者の作業を check。  
・織田資材部長より、機材の最終的な契約価格について協議 (19:30~20:00)
- 6 日 (土) ・O-L-H 技小委 (2) の資料準備。
- 7 日 (日) PM 003. 10:00AM にて羽田発、香港へ向う。
- 8 日 (月) ~15 日 (月) 香港にて、沖 - 比 - 香ケーブル 第2回技術小委員会。  
15 日 PM 008 16:00 香港発 帰国。
- 16 日 (火) ・NEC 斎藤部長他、田畑氏を呼び、沖縄 - ルソン間の契約書作成に必要な作業を説明。(11:00 AM~12:00)。  
・CW Mr. Cooper-Stanton 来日
- 17 日 (水) ・OLH 技小委 (2) の資料整理。  
・職員部曾根補佐より、東北大物理修士課程の亀田君が KDD への就職の可能性をききにきたので、内容をきいてほしいとのこと。  
・物理系では、採用が難しい旨説明する。
- 18 日 (木) ・東北大 佐藤 (まり) 教授の9月2日付の手紙を見る。以前の採用試験問題の入手希望。  
小関君に話し、職員部から入手してもらう。

- ・佐藤教授に Tel. し、来週届けると約す.
  - ・OLH ケーブル機材発注に関し、その delivery 関係の手紙を NEC に出す.
- 19 日 (金)
- ・ Mr. Cooper-Stanton と NEC への発注機材の delivery schedule の form につき打合せ.
  - NEC と Mr. C-Stanton との打合せに出席し、delivery schedule について協議.
  - (15:00~16:30).
  - ・吉田課長と懇談.
- 20 日 (土) 週休
- 22 日 (月)
- ・東北大へ就職学生のすいせんに関し訪問の件.
  - 小関君が行かれないので、小生が行くことにし、手続きをとる.
  - ・織田資材部長、塚田課長と NEC との契約について協議 (schedule について).
  - ・HLO 第 2 回技小委の役員会報告作成.
- 23 日 (火)
- ・志村取締役へ、状況報告. (10 月~12 月の主要業務, OLH 契約関係 等).
  - ・ Mr. Cooper-Stanton に対する志村取締役の昼食招宴に同席.
  - ・契約書に refer される NEC からの letter の取りまとめ, ETPI の nominee として KDD が何をなすかを契約時に ETPI から NEC に通知する letter の内容等につき、塚田課長と打合せ Mr. Cooper-Stanton に協議してもらう.
- 24 日 (水)
- ・祝日. 秋分の日.
- 25 日 (木)
- ・Specification に refer する Tendec と NEC の手紙の reference 記号が spec. に記載されたものと契約書作成の最終段階で定めたものと異なってきたので、この処理につき Mr. Cooper-Stanton に塚田課長を通じ問い合わせる.
  - ・役員会に、沖-比-香ケーブル 第 2 回技術小委員会 (香港) の報告を行なう.
- 26 日 (金) ~28 日 (日) 仙台出張
- ・51 年度採用のすいせん依頼のため、東北大学を訪問.
- 29 日 (月)
- ・KCS に対し、沖縄-ルソン-香港ケーブル計画につき説明.
  - KDD: 志村取締役, 小林, 亀田, 吉田.
  - KCS: 広島, 斎藤, 江副 各役員, 畠山, 大槻, 吉田船長, 定金
  - ・ルート構成につき、再度打合せることとなる.
- 30 日 (火)
- ・総合企画室 福地部長, 里見次長, 今井課長と打合せ.
  - 海底本部 関, 亀田.
  - タイ国 PTD スリブミ長官が 10 月に来日するので、社長と会談の際、東南アケーブルについてどのように打合せるかの協議を行なう.
- 10 月
- 1 日 (水)
- ・うずしお会 GC.
- 2 日 (木)
- ・特記事項なし
- 3 日
- ・部長会に出席.



- (金) ・埋設部会.  
埋設機の海岸実験, 埋設工法の海洋実験等の計画の審議.  
・京極, 三原両君の歓送会. (新宿クラブ).
- 4 日 ・出社.  
(土) 永田課長より, 英語研修の状況をきく.
- 6 日 ・施設課 阿部課長より, 沖縄海底線中継所の所属について, 文書課から意見を求められているとのことで, 小林建設部長と共に協議.  
(月) ・沖縄の地域的条件, 地元, NTT 沖縄通信管理局との接衝等を考慮すると, 本社直轄より, 沖縄通信事業所の管理下におく方が好ましいとの結論になる.  
なお, この場合, 沖縄通信事業所の技術課を強化することを要望することとする (同意見は, 回統部にもあるとのこと).  
将来, 沖縄 - 比 - 香ケーブルの建設時には, 中継所へ工事実施指令を出すことになるだろうが, 通信事業所経由で文書を出せば問題なかろうとのこと.  
・国際部長と 二, 三の問題を話し合う.  
1. IRU 販売会議の際の, 説明用技術資料の作成と, CW との協議.  
2. 回線利用協定 (IRU 購入者との) における, 特許条項の必要性:  
・CW はもともと建保協定作成の時から, 特許条項を入れることは考えていない.  
・業ム部長より  
沖 - 比 - 香ケーブルの調整委の仕事と, 各小委への付託業ムの明確化について, 志村取締役より, 各小委代表との打合せたいとのこと.
- 7 日 ・午後より, 埋設機海岸実験視察のため, 茨城県大洋村に出張.  
(火) 京大 土木, 畠教授らと同行.
- 8 日 ・雨天のため, 埋設機実験は翌日に延期  
(水) 埋設機を見るのみで帰京.  
・午後, 本社.  
志村取締に状況報告.  
1. 埋設機実験延期の件.  
2. 永田課長の英語研修受講状況と, 語学力審査および ITU 側の受け入れ審査, 内定の予定について.  
3. 上記に伴う, 後任者の選定について. (技師長に資料を提出するよう指示あり)  
4. 日中ケーブルのケーブル圧力・温度係数の調査試験に関する, NTT 通研との協同実施について.  
5. 上記に関連して, NK 合同委員会の開催について. NTT 幹事と協議するよう指示あり.  
・徳江補佐より, SPT に発出する写真電報について.  
・中継器の抜取り試験用サンプルの指定については了承.  
・システム等化器について, 端局装置の検査スケジュールを通知することで, カバーするよう指示.  
・OLH ケーブルの NEC との 製造連絡会の設置について.
- 9 日 ・日隅君に, OLH ケーブルに関し, 次の作業を指示.  
(木) 1. 調整委の下で行うべき作業の遂行状況 (技小委の付託事項に照して).  
2. 契約書の規定により, KDD が nominee として行うべき作業と, メーカーが 果すべき義務の把握.  
・阿部課長より,  
苓北工事事業所の設置について, 役員会議了承になったと文書課より連絡があった.  
要員の人選については, 目下社長室等で検討中.

- 10 日 ・ 体育の日  
(金)
- 11 日 ・ 永田課長、松田次長と、線路課長の後任候補者について 協議。  
(土)
- 13 日 ・ 要処理問題。(当面).  
(月)     1. 線路課長の 後任 選定：関係部門と協議の要あり。  
          2. 会議出席者の 選定：沖一比一香、日中の会議出席者に対する案 査定。夫々の会議議  
              題と、建設作業の実施（検査、試験等）との関連を考慮する。  
          3. NK 合同委員会の開催：NTT 幹事と協議する。  
・ 上記 1 に関し、中込副所長、松本職員部長に状況を話す。  
・ 午後、新技術開発推進委員会（第 28 回）14:00～17:00.
- 14 日 ・ NK 合同委員会の開催について、横須賀通研 渡辺部長に電話で協議し、次週の方式分科会  
(火)     で相談することとする。  
・ 吉田課長と、日中ケーブル当事者会議、OLH 第 3 回技小委の議題につき協議。  
・ 夜、庶務部 庶務課長 高瀬氏と懇談。
- 15 日 ・ 線路課長の後任について 案を作成し、志村取締役、木村技師長の承認を得、以後 社長室  
(水)     と協議を進めることとする。  
・ OLH ケーブルの今後の進め方について検討。  
調整委の下で、KDD の社内部門とどのように連れいして行くか。
- 16 日 ・ 調整委員会に関する打合せ。  
(木)     志村取締役、織田、尾畑、関各部長。  
・ 電通学会 東京支部役員会。
- 17 日 ・ 部長会  
(金)     ・ 志村取締役より、ロンドン出張の際、STC の視察の機会をもったらどうか、と話あり、ロ  
          ンドン高松事ム所長に Tel. : CW に打診を依頼するとともに、Agenda につき問い合わせを  
          依頼。  
・ OLH 製造連絡会。13:30～16:00。  
・ 尾畑国際部長と IRU 販売会議用資料の協議。
- 18 日 ・ 研究所 ゴルフ コンペに参加。  
(土)
- 20 日 ・ 午前、佼成病院にて、胃の X 線検査。  
(月)     ・ 沖一比一香 第 3 回技術小委員会の出席者の事案決定処理を進める。  
          ロンドン事務所より、STC の工場訪問可との連絡あり。  
・ 新技術開発推進委員会（第 29 回）：長計 17 号の新技術開発計画の審議。
- 21 日 ・ 研究所の CS-12M 開発グループの主要メンバーと打合せ。9:30～12:00。  
(火)     沖一比一香ケーブル計画の進展状況を海建本部より説明。  
・ NTT 緒方総務理事より Tel.  
電通学会 東京支部の見学会の案として、警察庁の道路交通管制システムが 16 日の支部  
役員会に上ったが、警察庁通信局長の津沢氏に問い合わせたところ、可能との  
返事を得たので、2 月中旬を目標に進めてほしいとのこと。  
・ 直ちに、津沢氏と連絡をとる。  
・ 埋設部会。(午後)。

- 22 日 ・NK 合同委員会，方式分科会のため，横須賀通研へ。  
(水) ・定年退職者 技術系 12 名の歓送会に出席。(国際通信センタービル)。
- 23 日 ・会社の 定期健康診断 受検。(午前)  
(木) ・電信電話記念日 祝宴に参加。(帝国ホテル)。  
・夜，埋設用装備の試験視察のため，夜行にて，下関へ出張。
- 24 日 ・三菱重工下関造船所にて，KDD 丸船上の埋設装備試験状況を見る。  
(金) 夜，日本サルベージ幹部と懇談。(森社長，江副取締役 (KCS)，木村技師長，志村取締役)に同席。) 門司泊。
- 25 日 ・下関。  
(金)
- 26 日 朝，下関発 新幹線で帰京。  
(土)
- 27 日 ・志村取締役の指示を受け，OLH 技小委 (3) の対処方針案 資料を修正  
(月)
- 28 日 ・警察庁 宮野氏より，東京支部見学会について連絡あり。  
(火) また，津沢局長からも Tel. あり。  
・新技術開発推進委員会。(14:30～18:30)。
- 29 日 ・技師長，社長に 役員会資料 (技小委対処方針案) の事前説明。  
(水) ・志村取締役に，OLH 技小委 (3) の提出資料の説明と，出席者打合せ。
- 30 日 ・OLH 技小委 (3) (ロンドン) 会合の対処方針策につき，役員会に伺い，了承を得る。  
(木) ・定期人事管理記録表 (副参事，三類，四類) を作成，提出。  
・東京支部見学会の件に関し，学会事務局大柴氏に Tel.
- 31 日 ・午前，佼成病院にて，X-Ray の結果をきく。  
(金) ・出社し，OLH 技小委ロンドン会合の 資料準備。  
・夜，10:05 SK980 にて，羽田 出発 ロンドンへ向う。

## 11 月

3 日 (月) ～8 日 (土) ロンドンにて，第 3 回 技小委会合。11 月 6 日 (木) STC 工場視察。

10 日 帰着。  
(月)

- 11 日 ・Mr. Slade からの回線使用計画に関する CW の要求 (letter) を，国際部長，福  
(火) 地部長等関係者に渡す。  
・同友会こん親会 (16:00～)  
・志村取締役に技小委ロンドン会合の状況報告 (17:00～19:00)
- 12 日 ・NEC 海外伝送通信部長 大城氏 来訪  
(水) ソ連への CS-5M 方式用機器の契約に関する問題について。  
・技小委ロンドン会合の役員会報告の作成について，吉田，石井両君と協議。

- 13 日  
(木) ・志村取締役、小林部長とともに、NEC 玉川工場 訪問。  
日中ケーブル用 中継器、端局装置の製造状況をみる。  
・永田君の後任問題につき、社長室小関課長と協議。  
技師長に相談のうえ、追ってさらに社長室と協議することとする。
- 14 日  
(金) ・午前、佼成病院にて、胃カメラの検診を受ける。  
・中野区役所にて、印鑑再登録  
・第 5 回 日中当事者会議の 対処方針案の作成について、松田、吉田両君と協議。  
・沖縄海底線中継所の 要員服務 について、労厚部主催の関係部間打合せに出席：仮眠を認めるかどうか、の協議。(17:00～17:30)
- 17 日  
(月) 沖縄ールソンー香港ケーブル 第 1 回運用／財務合同会合（ロンドン）の報告と今後の作業方針打合せ。(国際部 主催)。14:00～17:00 。
- 18 日  
(火) ・日中ケーブル 第 5 回当事者会議 対処方針の打合せ。(14:00～16:30 )  
志村取締役、関、松田、猪股、吉田。  
・OLH 技小委 (3) (ロンドン) の役員会報告資料作成。志村取締りに説明、了承を得。
- 19 日  
(水) ・日中ケーブル 当事者会議 対処方針の役員会資料を技師長に事前説明。  
・ケーブル船利用協定文の CW model の内容について、塚田課長と検討。  
・SPT の中継器、端局の検査団に対する 志村取締役の招宴（横浜アスターホテル）。
- 20 日  
(木) ・日中ケーブル 当事者会議（第 5 回）の対処方針案を役員会にかけ、了承を得。  
(関、小林両部長とともに)。  
・17 号長計・海底プロジェクト関係の建設線表と要員計画を総企室の依頼により作成。
- 21 日  
(金) ・部長会に出席。  
・線路課 関係者から、日中ケーブルのケーブル長調整のための、切断長決定指示に関し、温度係数の標準値を求めた経緯をきく。
- 22 日  
(土) ・17 号長計作成のための、海底線プロジェクト建設線表と要員計画の基礎資料の要約を志村取締りに報告。  
・日中ケーブル 電氣的布設における工事計画（乗船人数、時間配分等）の requirement を 12 月 19 日の埋設に関する KDD、KCS 打合会議に提出するよう指示あり。
- 24 日  
(月) ・勤労感謝の日（23 日）のふりかえ休日。
- 25 日  
(火) ・役員に、OKLUHO 技小委 (3) の報告。  
・次課長、課長補佐と懇親。(はやし)
- 26 日  
(水) ・建設部・KCS 間で OKLU のケーブルルート、スラックの打合せを行なったが、意見の一致を見られずとのこと。
- 27 日  
(木) ・志村取締へ報告と意見具申。  
(1) ETPI より通報の STC repeater の検査について：全体計画を見て計画を建てたい。  
ロンドン事務所の協力も得たらどうかとの suggestion あり。  
(2) 課長以上の身上調査を作成提出。  
(3) Protection cable について：OCC と磨耗強度について打合せ、確信を得たい。この arrange につき、吉田、永田両君に指示。

- (4) KEC 依頼の海底ケーブルの本の執筆につき、構成の意見提出。  
OKLU のケーブル・ルートの最終決定が pending になっているが、NEC に対しては契約の履行上、SLD の通知を出す必要があり、将来の変更は可能条件で、NEC へ指示を出すことの了承を得る。
- ・吉田、永田両課長へ指示
  1. NEC へ OKLU の Production Schedule と Straight Line Diagram (issue 1) を通知することの処理。
  2. 日中ケーブルに関し、業者より適宜 progress report を出させる必要があるので、資材部と協議すること。  
(陸上ケーブルの中国への積み出しが、実施されたにも拘らず、海建本部へは情報がもたらされなかった事例に鑑み、また、SPT が早期納入を希望した VDF 等もどうなっているか、定かではない)。
  3. ケーブル・ルート (OKLU) とスラックについて、KCS の完全な合意が得られてないが、計画スラック 3.34% をルートに割りふって、コースデビエーションに対する KCS の要望が満たされる度合を算定すること。
  4. 前出の、protection cable に対する OCC との打合せの arrange。
- ・午後、早退。佼成病院へ。
- 28 日 (金)
  - ・KDD 労働組合ストライキ、電話局へ応援に、次課長、調査役ら出向。
  - ・NEC 斎藤(文)部長より、ソ連の訪日団は、12 月来日の予定が延び、明年 1 月になろうとのこと。
  - ・CW より、技小委(3)のミニッツ 来着。
  - ・松下技研 中野朝安氏、小池勇二郎氏の叙勲のお祝いに 来社。  
古橋取締役を紹介、お礼。
- 29 日 (土) 週休。  
年末 1 時金妥結との電話連絡あり。
- 30 日 (日) TPC-2. 沖縄沖にて最終接続。
- 12 月**
- 1 日 (月)
  - ・日中ケーブル 第 5 回当事者会議に出席のため、第 1 陣の専門家グループ 10 名、上海に向け出発。
  - ・郵政省電監室 小林副参事官、土田係長に 第 2 回、第 3 回の OKLUHO 技小委の報告。(14:00~15:00)。
  - ・渡辺研究室 同窓会。(目白、日立クラブにて)。18:00~20:30。
  - ・NTT 緒方総務理事に、沖縄~本州ケーブルについてのコメントをきく。
  - ・MPT に調整を図るに適する人がいればよいが、…。
  - ・KDD, NTT 間で話し合う場があるとよい。
- 2 日 (火)
  - ・午後より、沖縄海底線中継所 開所式 に接待役として出席のため、石谷課長とともに沖縄へ出張。
- 3 日 (水)
  - ・沖縄海底線中継 開所式。  
終了後、沖縄 - グワム間の ライン・アップテストの状況を見る。
- 4 日 (木)
  - ・海洋博覧会 を見て 帰京。
- 5 日
  - ・午前 部長会。(10:00~11:30)

- (金) ・午後、国際部主催の OKLUHO 調整委員会の対処方針打合せ (14:30～16:00)  
志村、鶴岡取締役 出席。  
・ NEC 田中事務所長代理へ、日中ケーブル中継器：検査の取り運びにつき、改善方を要望。
- 6 日 (土) ・志村取締に、上海で開催中の日中ケーブル会議 技術部会の状況報告。
- 8 日 (月) ・羽田空港に、日中ケーブル 第 5 回当事者会議出席のため上海へ出発の志村取締、小林部長を見送る。(AM 7:30～8:00).  
志村取締より依頼の件、矢島秘書役へ伝える。  
・石井君に、今週の部長会に資料(第 3 回 OKLUHU 技小委報告)を準備するよう指示。  
・ロンドン事務所 高松所長あて、手紙を作成。
- 9 日 (木) ・ロンドン事務所に、第 3 回技小委関係資料、STC 工場試験に関する件の手紙を送付。  
・ NEC 村上传送事業部長、田畑、本郷氏 来訪。  
・日中ケーブル用中継器検査等の取り運びの不備な点の釈明に来る。  
・ OKLUHO IRU 販売会議用技術資料として、CS-12M のカタログ作成を要望。  
・来年 1 月～2 月の東京における OKLUHO 調査委、技小委の際の工場見学の都合をきく。  
・学会 東京支部見学の件につき、学会 大柴氏と Tel. 打合せ。  
大柴氏より、警視庁広報課と打合せ、2 月 6 日、14:00～ と定めた連絡あり、会告を出すことにつき、緒方支部長に報告、了承を得る。  
・接続訓練中の SPT 職員 5 名の招宴。(横浜アスターホテル)
- 10 日 (水) ・富士通 小山工場へ 出張。  
・日中ケーブル用機器の製造・試験状況視察。  
給電装置の対向試験、中継器、端局装置(苓北向け)等を見たほか、一般搬送機器、電子交換機の工場を見る。
- 11 日 (木) ・ OCC 滝鼻部長 他 と OKLU の プロテクションケーブル について打合せ。(9:30～11:00).  
低密度 PE と高密度 PE の摩耗比較実験を依頼。  
・塚田課長と、調整委員会の運営と KDD 社内組織との関連問題の討議。  
・木下課長と昼食を共にし、日中ケーブル会議(上海)の状況をきく。
- 12 日 (金) ・部長会 OKLUHO 技小委 (3) の報告を提出。  
・ ATT と TPC-2 の運用保守会議が開かれ(保全部 主催 12/11～12/12)、来訪の Messrs. Meierdiercks, F.G. Morris, Nihei, Palmieri との昼食会(回統部長招宴)に出席。  
・日中ケーブルの電氣的布設に関する試験実施について、KCS 江副部長の来訪を受け、永田課長と共に協議。(14:00～15:00).  
・ 51 年度事業計画の総企室への提出案。KDD 丸の使用計画の保全部への提出案につき、永田、石井君らから説明をきく。(16:00～17:00)  
・伝送同門会 忘年会(新橋会館) 18:30～20:30

添付資料：報告事項 (自 50.12. 8～至 12.16)

志村取締役 殿  
海底線建設本部 技術部長 亀田

1. 先に NEC より連絡のあったソ連通信省海底ケーブルミッションの訪日計画については、本年 12 月上旬の予定が、明年 1 月に変更された旨、NEC 斎藤部長より通知があった。



2. ITU 技術協定専門家の派遣について KDD ジュネーブ事務所から海外協力室へ入った情報によると、アンマン UNDP の予算逼迫により受入れが大幅に遅れることとなり、永田課長の赴任は 1977 年 5 月以降となる見込みとのことである。(連絡カード 海協 273. 50. 12. 8)  
なお、海外協力室では、ITU ジュネーブ本部から日本郵政省への公式連絡をまって、延期が事実の場合は措置を講ずることとしたいとしている。
3. SPT の接続訓練受講者 4 名および通訳 1 名は、所定の訓練を終了し、中継器検査を終了した 2 名とともに 12 月 12 日上海へ向け帰国した。
4. 12 月 10 日、富士通小山工場にて、日中ケーブル用機器の製造状況ならび検査状況を視察した。給電装置(南匯側 NEC 製、苓北側 FUJITSU 製)の対向試験が行なわれていたが、良好な動作を示しているものと認められた。その他、中継器、端局装置の製造・検査も順調に進行しているものと認められた。
5. 日中ケーブルの電氣的敷設のための船上端局(富士通製)は、立会試験を終了後、12 月始めより KDD 丸に搬入し据付けを完了して現在調整中である。
6. TPC-2 の沖縄ーグワム間ラインアップ試験は 12 月 11 日に終了し、良好な結果を得ている。
7. TPC-2 の運用・保守会議が、保全部主催で東京で開かれた(12 月 11 日～12 日)。ATT 側出席者は Messrs. C. Meierdiercks, F.G. Morris, Nihei, R.M. Palmieri の 4 氏である。
8. 12 月 16 日に予定されていた TPC-2 の開通記念行事は、諸般の事情により実施が延期された。(庶務部長発信連絡カード 50. 12. 8 付)
9. 沖縄ールソンー香港ケーブルのバシー海峡部に特殊保護ケーブルを使用する必要性の有無を検討するため、OCC 滝鼻部長以下と打合せをもち、追加実験を依頼した。  
(12 月 11 日 資料 1. 別添)
10. プロジェクト計画・主要施策事項の推渉状況・予定に関する資料の作成方につき社長室より各部室に要請があり、当本部より別添資料 2 を作成し提出した。(12 月 12 日)
11. 沖縄ルソンー香港ケーブル技術小委員会のコンビーナーから調整委員会メンバーへ提出されたリポートに対する KDD 委員のコメント案を別添資料 3 のように作成した。

—以上—

添付資料

- 1 特殊保護深海ケーブルの必要性の検討について
- 2 プロジェクト計画および主要施策事項の推渉状況
- 3 CW Mr. Davies, ETPI Mr. Bane あて、技術小委員会リポートに対するコメントのテレックス案文

=====

13 日 週休.  
(土)

- 15 日 (月)
- ・当面の処理事項の処理を進める。
    1. OKLUHO 技小委リポートに対する KDD コメント案の作成。
    2. STC 工場視察報告のとりまとめ。
    3. 志村取締役出張中の報告事項のとりまとめ。

- 16 日 (火) ・前記事項のとりまとめ，作成の処理を行なう。  
・日中ケーブル 当事者会議に出席の 志村取締役以下全員 帰国。
- 17 日 (水) ・志村取締役に，「報告」(前記 3) を提出。  
・技術部 忘年会。
- 18 日 (木) ・永田君の件につき，志村取締より，宮取締りの希望として，ヨルダン派遣まで，伝施部へ移籍し，海事衛星等の業務へ従事させたいとの意見が示されたが，本人の希望はどうか確かめるよう指示あり。  
本人は，このまま海建本部で仕事を続けたいとの希望を確かめ，直接志村取締にその旨を話させる。  
・OLH ケーブルの共同外建設設備に関し，業務分担を協議するため，伝施部，回統部，海建本部間で打合せ。(14:00～16:00)。  
・OLH 第 4 回調整委員会と 第 4 回技術小委員会の開催期日の調整の必要性について，国際部長と協議，とくに，従来の予定を変える要なしと云うことで合意。
- 19 日 (金) ・午前，佼成病院にて，胃カメラ検査。  
・午後 出社。  
OLH, IRU 販売会議用 Brochure draft の検討。  
KDD が分担する OKLU 区間の資料の作成方針につき，石井，日隅君に指示。
- 22 日 (月) ・OKLUHO 技小委 (4) 東京会合の議題および日程，出席者の問い合わせのテレックスにつき，検討を吉田係長に指示。  
・ロンドン事ム所に，CW の X-マス休暇をきき，KDD の正月休みを知らせるよう依頼。
- 23 日 (火) ・技小委レポートに対する KDD コメントを志村取締名で CW, ETPI に発信。  
・OKLU の機材検査につき，メーカーと打合せるための資料 (検査要領) を線路課長らと打合せ
- 24 日 (水) ・特記事項なし。  
・午後，佼成病院にて，胃カメラの検査結果を聴くため，早退。
- 25 日 (木) ・OLH 技小委 (4) の対処方針，および STC における工場試験への参加につき，1 月に役員会へかける準備を進めるよう，技術課長に指示。  
・関部長より。  
昨日，志村取締と国際部長が協議し，次回調整委 (東京) の事ム局を海建本部におくこととしたので，諸般の準備を業務部で進めるに当り，技術部の協力を得たいとのこと，了承する。
- 26 日 (金) ・大日電線 六戸君より  
第 3 回電気学会進歩賞の候補に 同社 山内氏を代表として，「超高压用乾式架橋 PE ケーブルの開発」が挙げられているので，研究所 中込氏 (選衡委員となっている) にすいせんを頼みたいとのこと，了承し，直ちに中込氏に Tel.  
情報として，大日電線で開発した，光ファイバーの話をきく。  
LED による 0.87 ミクロン波長の光で，最小 1.9dB/km，平均 3 dB/km 程度のものが得られている。通常，4000 円/m or more であるが，それより安価に提供できるとのこと。
- 27 日 (土) 沖縄 - ルソン - 香港ケーブル IRU 販売会議用資料のうち，OKLU 区間の英文技術資料を，石井，日隅，京極君らと作成。 29 日夜，ファクシミリで電送の予定とする。  
昼，32F で昼食慰労。



1975年12月

---

29 日      仕事 納め.  
(月)

## 1976 年（昭和 51 年）

## 1 月

- 5 日  
（月）
- ・ 仕事始め。
  - 10:00～ 会長，社長の訓示。
- 6 日  
（火）
- ・ CW, ETPI より，正月休暇中に入電した TLX を見る。
  - ・ STC 工場での試験参加についての対処方針案の作成につき，石井君に指示。
  - ・ 第 4 回技小委（東京）の対処方針案につき，吉田課長と協議。
- 7 日  
（水）
- ・ OKLUHO ケーブルの電氣的布設設備の手配について線路課，技術課の関係者と打合せ。（10:00～11:00）。
  - ・ OKLUHO 調査委の会議出席者について塚田課長と打合せ。
  - ・ 保全部長に，出席方を要請。了承を得る。
- 8 日  
（木）
- ・ STC 工場へ試験のための職員派遣については，社長室に問い合わせた結果。役員会審議の必要はなく，事案決定処理で充分との見解を得たので，その線で処理をはかることとする。
  - ・ CW, ETPI に対する TLX 返電の処理を進める。
  - ・ OKLUHO 調整委員会 東京会合の 資料準備につき，塚田業務課長と打合せ。
- 9 日  
（金）
- ・ “国際通信の研究” 誌に掲載する TPC-2 の原稿 作成。
- 12 日  
（月）
- ・ “国際通信の研究” 誌のための TPC-2 原稿 脱稿。
  - ・ OKLUHO 調査委 東京会合 における ’75 年の回顧の技術関係資料につき塚田課長と打合せ。
- 13 日  
（火）
- ・ 永田，中川両君より，OKLU のケーブル製造計画につき説明報告あり。
- 14 日  
（水）
- ・ 調整委員会（沖－比－香ケーブル）東京会合の 準備打合せ。14:00～17:00。  
志村取締役，尾畑，関，秋本，亀田 各部長，塚田課長。  
会議の対処要領について討議。

「公社が局長級人事」（新聞記事あり：略）

- 15 日  
（木）
- ・ 成人の日。
  - 嶋谷君の結婚式披露に出席。
- 16 日  
（金）
- ・ OKLUHO 調整委員会 東京会合の対処方針に関する打合せ。14:30～19:00  
志村，鶴岡取締役，国際部，経理部，総企室，海建本部の関係者出席。
  - ・ ソ連ケーブルミッションの KDD 来訪（1 月 23 日）に関し，その準備について石谷課長と協議。
  - ・ NEC 提出の OKLU 区間 progress report を CW, ETPI に送付。
- 17 日  
（土）
- ・ 出社。
  - 社内の海底ケーブル技術研修講演の原稿準備。
- 19 日  
（月）
- ・ 午前 佼成病院。胃カメラ検査。結果 OK。
  - ・ 午後，OCC 新山下工場へ行く。（永田，中川，細谷同行）。  
・ 押出機を増設し，生産増張の neck を解消すること。

- ・ OKLU のケーブル製造開始状況を見る。
  - ・ shore-end cable の送り先は、シンガポールとなっているが、ラッシュバージの定期船がマニラへ寄っていて、都合がよいので、マニラへ送るようにできないか、次の TSC で CW へきいてみることにする。
- 20 日  
(火)
- ・ 前夜、富士通鶴静氏からの依頼の件。人事課曾根補佐へ問い合わせる。同君が電話局へ確かめたところによれば。
  - ・ 年齢条件があるが、一応応募して、試験の結果により判断したいとのこと。なお、採用後は、社員へ転用することになるので、アルバイトのつもりでは困るとのこと。
  - ・ ソ連ミッションの KDD 訪問の目的につき、NEC 大城事業部長へ問い合わせる。なお、確かめて、回答すること。
  - ・ NTT 通研 近藤貞吉調査役（情特部）に Tel. 学会 東京支部 見学会における始めのあいさつ依頼、了承を得る。
  - ・ 吉田、永田両君より。NEC の中継器製造上の問題につき、志村取締役より話があり、NEC の管理体制につき、KDD でもよく監督する要ありとのこと。昨年 12 月に 事業部長に 改善方要望の注意を与えた旨 話す。
- 21 日  
(水)
- ・ 江幡調査役より、A 等化器（日中ケーブル用）の特性指定を富士通に与えるに 当り、その内容説明を受ける。
  - ・ ソ連ケーブルミッションの KDD 訪問、KDD 丸見学に対するスケジュールの打合せを関係者と行なう。
- 22 日  
(木)
- ・ OLH 技術小委 東京会合の準備打合せを関係者（技術、線路、海洋、施設の各課）と行ない、資料、受け入れ方等を検討（13:30～16:30）
- 23 日
- ・ ソ連ケーブルミッション来訪：打合せ事項が、とくに海建本部と関係なくなつたので、KDD 丸の見学案内のみ世話する。（小林部長他、案内）。
  - ・ OLH 調整委 東京会合 の 進み方の協議打合せに出席。14:00～17:00 志村取締役、国際部、経理部、総企、海建本部、資材部長。
- 24 日  
(土)
- ・ OKLH 区間のケーブルルート、スラックについて、KDD、KCS の討議が行われ、その模様につき、吉田課長から報告あり。
  - ・ 海底ケーブル技術研修の講演原稿 作成。
- 26 日  
(月)
- ・ OLH 調整委員会 の 資料準備につき塚田課長と打合せ。
  - ・ OLH 技小委の 資料準備のため、永田課長、日隅調査役と協議。
  - ・ 社長のインタビュー用資料として海底ケーブルに関するメモの作成方につき、遠藤秘書より依頼あり、松田次長に作成を命じる。
- 27 日  
(火)
- ・ 技術研修講演「海底ケーブル通信」、研修所による。10:00～12:00
  - ・ 事業計画の労組への説明に関する方針の打合せ。（社長室主催）役員、関係部長間 14:00～17:00.
  - ・ OLH 技小委（4）の対処方針案に関する役員会資料を、技師長、副社長に事前説明。
- 28 日  
(水)
- ・ OLH 調整委 第 4 回会合 始まる。午前 全体会議 に出席。午後、Financial Group におけるケーブル船利用に関する討議に参加。その技術的問題について、Mr. Powell と討議するための資料作成。
  - ・ 社長に、OLH 技小委（4）の対処方針（案）を事前説明。ルソンの Shore end cable 工事に英国船を使うことについて、十分にそれでよいことを確かめよと、コメントあり、(KDD 丸で実施しない点につき、経済性その他であとで不

- 利益を蒙らないよう注意せよとのこと).
- ・夜、OLH 調整委会合出席者に対する副社長招宴.
- 29 日 (木) ・役員会に、OLH 技小委 第 4 回会合の対処方針案を伺い、了承を得.  
 ・ Mr. Powell とケーブル船の technical capability につき討議.
- 30 日 (金) ・午後、調整委 全体会議.  
 ・ 51 年度設備計画の労組への説明。(小林部長に委嘱).
- 31 日 (土) ～2 月 1 日 (日)  
 ・ OLH 調整委会合 出席者に同行し、沖縄 出張.
- 2 日 (月) ・ ETPI Mr.Histed OLH 調整委会合へ参加.  
 ・ Messrs. Powell, Histed と 今後の技小委会合予定を協議.  
 ・ 第 4 回 技小委会合の準備  
 ・ 木村技師長のあいさつ文の作成.  
 ・ 会合資料の作成.
- 3 日 (火) ・ OLH 調整委会合 最終日.  
 ・ 夜、NEC による 調整委会合出席者 に対する招宴.
- 4 日 (水) ・ OLH 技術小委員会 第 4 回会合 開始.
- 5 日 (木) 同会合 夜、技師長招宴.
- 6 日 (金) " 昼、三井ビルマンダリンパレス
- 7 日 (土) " 夜、はとバスで都内観光.
- 9 日 (月) CW, ETPI 代表団, NEC, OCC, KDD 丸視察.
- 10 日 (火) 同会合最終日. 夜、Mr. Powell を羽田に見送り.
- 11 日 (水) 建国の日.  
 CW, ETPI 代表団、沖縄へ.  
 朝ホテルにて、Mr. Histed に 調整委メンバーへの報告を渡す.
- 12 日 (木) ・ 志村取締役技小委の模様を報告.  
 ・ 国際部長宛 Mr. Murphy (ITT) から、STC の幹部の KDD 訪問につき来信あり、海建本部で処理してほしいとのこと、了承得る.  
 ・ NTT 技術局 村上次長より Tel.  
 NK 合同委員会の開催につき、相談あり.  
 3 月～4 月に開催を目途に、それぞれの社内幹部の意向を確かめることとする.
- 13 日 (金) ・ 技小委 (4) の役員会報告.  
 : 調整委員会の報告を先般したところであり、技小委の会合ではそれ程大きい問題もないと思われるので、資料提出でよからうとの志村取締役の意向をうけ、

その線でとり進めることとする。

- NEC より、村上传送通信事業部長ほか、田中事業部長代理、斎藤（文）営業部長、宮崎海外伝送通信事業部長代理、田畑氏 来訪。

OLUH0 ケーブルの推進に当り、責任分担の明確化、連絡の緊密化、他メーカーとの連携強化を図る点について、NEC の体勢案を説明、了承する。

- 14 日  
（土）
- 役員会提出の 技小委（4）報告を検討。

- 16 日  
（月）
- OLUH0 第 4 回技小委会合の結果 action をとるべき問題を整理し、検討打合せ、を開くよう技術課長に指示。
  - 志村取締役母堂死去のため、通夜に弔問。
  - 織田資材部長と、OLUH0 機材の契約修正に関する ETPI からの通知のうち、技術関係につき協議確認。
  - ロンドン出張中の永田課長より Tel. あり。

- 17 日  
（火）
- STC より、Mr. Cottrell, Mr. Lawrance が、ITT Mr. Murphy の案内で来訪。Mr. Dudridge が退任し、後任の General Manager となった Mr. Cottrell の表敬が主たる目的であった。
  - 安藤電気 岡村社長 来訪。

- 18 日  
（水）
- 社長室より、技小委（4）の役員会報告と資料提出でなく、口頭でしてほしいと要請あり、資料提出は定期的なものに限りたいとのこと、了承。
  - 志村取締役に、STC 幹部との会談模様を報告。

- 19 日  
（木）
- 役員会に、LOH 技小委（4）会合の報告。
  - 夕刻、ロンドンの永田君から線路課に Tel. あり、出張の延伸を希望しているとのこと。ロンドン事務所に電話し、詳細な日程と、延伸理由を知らせるよう依頼

- 20 日  
（金）
- 朝 9:10 ロンドンより Tel. フランスへ寄るため、出張を延伸したいとのことなので、予定外のこと延伸は認められない故、予定通りの行動をとるよう指示。
  - OLH TSC ミニッツを精読し、処理すべき問題を整理。

- 21 日  
（土）
- 執務月報。12 月、1 月分をかく。

- 23 日  
（月）
- OLH 技小委 第 4 回会合のミニッツに基づき、今後とるべき action について、本部内関係者と打合せ。（技術課、線路課、海洋課、施設課）。10:00~12:00。
    - 永田・矢口両君 STC 工場試験への立会いのためのロンドン出張から帰着。概略報告をうける。
    - NEC 幹部らと懇談。（泉華荘）。18:30~

- 24 日  
（火）
- 職員部村上課長、要員関係について次の異動案の協議に来る。
    1. KCS 定金氏を業務部へ異動（調査役）：（3 月頃の異動）
    2. 業務部柴田調査役を技術部へ異動：（3 月頃の異動）
    3. この異動に伴う、要員数の調整は、苓北へ出すことで行なう。
      4. 若手の学卒 1 名（青柳、嶋谷、小林の何れか）を 7 月に苓北へ出す。
    5. 高崎主任を調査役に昇格させ、苓北へ駐在させる。以上の点 了承す。
  - 夜、RCA Murphy 社長招宴。

- 25 日 (水) ・ OLUHU プロジェクト 簡易パート図 作成.  
 ・ NTT 技術局 村上次長より Tel. . .  
 3 月下旬に NK 合同委を開く目途で、予備協議を 3 月 5 日夕刻より、KDD ビルで開くこととする.  
 ・ 夜、技小委 (4) の事務局員 慰労.
- 26 日 (木) ・ 松田次長に指示.  
 1. 日中ケーブルの布設、苓北への配員、等を考慮して、技術部の動員計画を検討すること.  
 2. 執務月報の提出.  
 3. 業界紙等の関連記事の切り抜き.  
 ・ 施設課から発送する ETPI への TLX を検討し、指示を与える.  
 ・ 関 業務部長、中近東、南欧への海外出張から帰着.  
 職員部から 2/24 に話しのあった人事の件、および日中ケーブルの専門家会議の予定について協議.
- 27 日 (金) ・ 志村取締役より、第 4 回 OLUHO 技小委の convenor report について、とくに異議はないので、その旨コメントを起案するよう指示あり.
- 3 月
- 1 日 (月) ・ TPC-2 の建設記録を「国際通信の研究」に掲載するに当り、ATT から得た資料を引用することの了解を求めるため、Mr. McCoullough あて letTel. を作成.  
 ・ 松田次長より、職員部からの情報の報告.  
 1. KCS 定金君の異動は、KCS の希望により、日中ケーブル布設後となるう.  
 2. 苓北への海建本部職員の転出は、建設部から 2 名予定.  
 3. 技術部の学卒 1 名を、現場へ出してほしい。(苓北、沖縄は空きがないので、他局所へ出すことになるう). 見返りに、1 名もらう.  
 ・ 業ム部 高橋、柴田、技術部 石井君らより、51 年度実施計画案 (海建本部の分) の説明あり.
- 2 日 (火) ・ Mr. Davies, Mr. Bane あて、OLUHO 技小委 (4) の convenor report に対する KDD のコメントを TLX.  
 ・ 海底ケーブル プロジェクト推進連合会 (KDD/メーカー間) を主宰. 13:00~14:30
- 3 日 (水) ・ 郵政省の催促を受け、アルミケーブル用中継器開発の委託契約に基づく、開発実施計画を早急に提出。(吉田課長処理). NEC, FUJITSU にも了解をとるよう指示.  
 (郵政省の会計検査に際し、契約で定められた実施計画の提出が、資材部で処理した契約事項の締結経緯の連絡が不充分であったため遅れていることが判明し、至急処理の必要を生じた.)  
 ・ OLUHO ケーブル船利用に関する打合せを主催. 13:30~16:30.  
 国際部、保全部、海建本部 (技術務、業ム部) 間で協議.  
 ・ OLUHO 調整委 (4)、技小委 (4) の両会合の報告を郵政省電監室に対し行なうことについて、関 業務部長 と協議.
- 4 日 (木) 特記事項なし.
- 5 日 (金) ・ 松田、永田両君より、日中ケーブルの電氣的布設工事 (布設後のシステム調整を含む) における、KDD 丸、南匯、苓北 各所の配員体制につき、案の説明を受ける.  
 KDD 丸、南匯におけるリーダーとして、永田、徳江をそれぞれ当てる案を採るよう指示 (線路課の重要業務として、総力をあげるよう要望す).

- ・CS-12M FT システムの NTT 譲渡のための布設替工事にトラブルを生じたため、NTT との海底同軸中継方式合同委員会の開催への影響が懸念され、志村取締に意見を伺う。今のところ、急に予定を変更する理由もなく、上記問題は、円満解決を望んでいるので、従前通りの計画で進めてもよいのではないかと、との意見を受ける。
- ・合同委員会 開催について、NTT 側幹事（渡辺、村上 両氏）と打合せ。 16:00～17:30
- 6 日 週休。  
(土) 中野税務署へ、確定申告に行き、住宅所得控除、医療費控除による税金の還付を申告。
- 8 日 8 日 (月)
  - ・NK 合同委員会の開催期日について、技師長、大島常務に都合を伺い、3 月 29 日を第 1 候補として、NTT 村上次長に連絡したが、NTT 側は国会の関係を考慮すると、4 月 2 日（金）がよいとのこと。
  - 再度、技師長に諮り、4 月 2 日でよいとのことになる。
  - ・日中専門家会議が 4 月 12 日より開かれる公算大となり、業務部長と日程、人選等につき協議。
- 9 日 9 日 (火)
  - ・技術部 次課長会議。11:00～12:00。
  - 日中専門家会議の議題、対処方針案の作成。スケジュール、OLUHU 技小委の会合に備えての準備等につき打合せ。
  - ・NTT 村上技術局次長に Tel. . . 9:10～
  - NK 合同委の開催を 4 月 2 日にすることに同意の旨 連絡。
  - ・榎本秘書役に、NK 合同委会合後の技師長招宴パーティの件を依頼。
  - ・研究所 中井 有シ研究室長 来訪：NK 方式分科会の件につき協議。
  - ・NEC 田畑氏 来訪：日中ケーブルの NEC 担当組織表 および、ケーブル関係のカタログ案持参説明を受ける。 17:00～17:40
- 10 日 10 日 (水)
  - ・研究所 中井室長より Tel. . .
  - 研究所に対するケーブルプロジェクト現況の説明打合せ会：16 日（火）AM。
  - NK 方式分科会 17 日（水）PM にしたいとの連絡。了承。
  - ・MPT 小林電監室副参事官に Tel. : OLUHO 関係の会合状況を 12 日（金）AM に報告することとなる。
- 11 日 11 日 (木)
  - ・OLUHO ケーブルのバシー海峡部に特殊保護ケーブルの使用が必要であるか否かの判断のため、OCC に依頼した PE の摩耗実験結果につき、永田君より報告があり、建設部 小林、木下、技術部 亀田、吉田、永田で、その結果の評価判定打合せを行なう。（10:00～10:45）
  - ・通研における 第 18 回研究発表会に出席、海洋中継所に関する発表をきく。（13:30～17:00）び、第 4 回技小委
- 12 日 12 日 (金)
  - ・郵政省 電監室 小林副参事に、OLUHO 第 4 回 調整委（1/28～2/3、東京）および第 4 回技小委（2/4～2/10、東京）の会合の報告。 10:10～11:20。
  - ・日中ケーブル用電氣的布設設備の設置状況を視察に、KDD 丸へ行く。（15:30～17:30）
  - 13 日より航海中の KDD 丸で、これら設備を動作させる訓練が行われる。その際に、設備の動作のみならず、作業グループが各自の分担を十分に認識し、有機的に組織体として動くよう、運用面についても、訓練するよう要望。
- 13 日 13 日 (土) 出社。
- 15 日 15 日 (月)
  - ・永田課長に指示。
  - 1. OLUHU ケーブルに特殊保護ケーブルを使用する必要性について、先の OCC による実験結



- 果に対する考察をまとめること。
2. 日中ケーブルの電氣的布設作業の際の組織的運用を考慮すること。
- 51年度開発項目に関する、開発推進委員会資料（開発センター作成）を検討。
  - 夜、石谷課長と懇談。
- 16日 (火)
- 研究所にて、笹本所長以下関係者と、沖縄～ルソン～香港ケーブルについて説明打合せ：現況、今後の計画、要協力事項など。10:00～12:00。  
あと、中込副所長の案内で、画像シミュレータ、quick Fax、簡易Faxを見る。  
(13:15～14:00)
  - TPC2の建設記録（KDD Journal 用）へ引用するATT資料について、Mr. McCulloughよりコメントあり、その回答について技術課長と協議。
- 17日 (水)
- SPTより、中継器検査に3名来日、あいさつに来る。(10:00)
- 午後、海底同軸ケーブル方式に関するNTT/KDD合同委員会の方式分科会（第24回）、を主宰。13:00～15:40
  - 志村取締役役に、4月開催の日中ケーブル専門家会議の人選につき、伺う。
  - 回統部 竹内部長より、上記会議への回統部よりの出席参加につき協議あり。
- 18日 (木)
- 松田次長に指示
  - 1. NK合同委員会への提出資料の作成
  - 2. 副社長訪中の際の技術関係参考資料の作成。
  - 3. 日中技術専門家会議の対処方針案の作成。
  - バシー海峡部に特殊保護ケーブルを使用することの可否につき検討し、CS-12M方式の無外装ケーブルで充分との結論を得たので、志村取締役に報告。このケーブル種別選定については、事案決定処理をするよう指示あり。
- 19日 (金)
- NTT技術局 村上次長にTel.：合同委員会に対するMPT電気通信監理官の扱いについて、来週NTT技師長の意見をきくとのこと。
  - ルソンにおける陸上ケーブル接続作業に関し、機材の輸送手続き上の問題があるとのこと。ETPIとの協議方法につき、海洋課長らと協議。
  - CBCの定例会合に、MPT電監室 日高参事官と出席。
- 22日 (月)
- NEC 田畑氏来訪  
沖縄～ルソンケーブルの機器製造に当り、とくに給電装置、C-TerminalについてはF社がその図面、構造詳細等をNに対し秘したいため、承認図提出、検査、取扱説明書提出をF/KDD間で直接に行いたいとし、KDDの諒承の下にN/F間で覚書を交わしたいとのこと。これに対し、
  - 1. NECがmain constructorとなることは、契約の際にメーカー間で取極めことで、KDDが指示したわけではない、よって、KDDは、NECが総括の責任を有していると理解している。
  - 2. その上で、N、F間で、NF間の問題を話し合うべきで、ある。
  - 3. KDDの諒承するには、何らかの文書処理を要しようが、契約に抵触するようなことはできない。
  - 4. NがFに一部の責任を負わせても、Nが全責任をもつものでなければ困る。
- 以上のコメントを述べ、田畑氏了解。
- 以上の件、織田資材部長に伝え、同意見を得る。
- 学会大柴氏よりTel. 数学講習会の参加者数の確認を求められ、研究所 中込副所長に連絡し、4～5名と返事。
  - 有シ研 中井室長 方式分科会報告の文案をもって来訪。  
正を加え、NTT側と協議してもらうこととする。
  - ノバ工芸 久布白氏と会う。18:00。



- 23 日 (火)
- ・吉田君より、OLUH0 ケーブルに対する国内伝送路の準備が、回線計画上は 2SG となっているので、従来 3SG と考えていた点と異なることに問題ありと報告あり。  
業務部とも協議し、社内の意見をまとめて、CW、ETPI に調整委の問題として提示すべきであると指示。
  - ・志村取締役より、海建本部 3 部長に、KEC より依頼の海底ケーブルの専門書執筆に対する話しあり。
  - ・NTT 村上技術局次長より、合同委会合後のパーティに、MPT 佐野管理官を招く件につき、NTT もとくに異議なしと連絡あり。18:00.
- 24 日 (水)
- ・中井 有シ研究室長 NK 方式分科会報告(案)をもって来訪。NTT のコメントは、3/26 まで得られないとのこと。
  - ・小林部長とともに、木村技師長に、合同委に提出する方式、布設埋設両分科会報告の説明を行なう。
- 25 日 (木)
- ・MPT 佐野監理官に Tel. . . 合同委会合後の懇親会に出席するとの返事を得る。
  - ・合同委員会資料とする「KDD における海底ケーブルの近況」について木村技師長に説明、了承を得る。
  - ・原田 社長秘書より、ECL 米川氏について尋ねられる。  
凸版ムーア KK 小林常務(元大蔵省勤務)より社長に、米川氏がインクジェットの専門家ときいているので会いたい、KDD に紹介者がいないかとの話があり、知っていれば紹介の労をとってもらいたいとのこと、調査を約す。
- 26 日 (金)
- ・通研 石川慶一氏に Tel.  
前夜の件につき、米川氏のことをきき、現在プリンター研究室長で、小生が知る米川元庸氏であることを確かめる。
  - ・日中技術専門家会議の対処方針案の作成を進める。
- 27 日 (土)
- ・日中技術専門家会議の対処方針案の作成を進める。
- 29 日 (月)
- ・日中技専対処方針案について、建設部、回統部、保全部 各部にコメントを求める。
  - ・新技術開発推進委員会に出席。13:30~16:00.
- 30 日 (火)
- ・織田資材部長、関部長と、OLUH0 ケーブルのルソン側陸上ケーブル、アースケーブルの手配について協議、織田部長より提案。  
契約数量の変更は、ETPI/NEC/KDD 間で処理されたが、L/C の変更には時間を要するので、4 月に輸送するための通関手続きが間に合わない。そこで、原契約の総量を変えないように、沖縄向けのケーブル長を短かくしておき、その分をルソン側ケーブルに振り向けた形で、通関処理をしたい。沖縄向けケーブルは、L/C の変更をすませてから、輸出申請をするので、今年終り頃になろう。
    - ・工事上は問題なし。
    - ・ケーブルはもうできているので、約 6 ヶ月の保管を OCC が承知するか。
    - ・delivery schedule の変更の処理をどう行なうか。(契約の変更処理)について検討の要あり。
  - ・NEC 出版の「海底ケーブル通信」の項目、執筆分担につき、打合せ。(14:30~16:00)  
(志村、関、小林、松田)。
- 31 日 (水)
- ・日中技専対処方針案 志村取締役に説明。
  - ・沖一本ケーブルにつき、福地部長と協議。
  - ・KEC 出版「国際海底ケーブル通信」の執筆につき、吉田、永田両課長に説明。
  - ・OLU 電氣的布設設備の準備手配につき、線路課関係者と協議。

## 昭和 51 年度

## 4 月

- 1 日 (木) ・ 創業記念日.  
帝国ホテルにて記念式典, パーティ 夜, 芸術座にて観劇.
- 2 日 (金) ・ 日中技術専門家会議 (5) の準備打合せ. 9:30~12:00.  
出席者ほか, 関係者.  
・ 第 6 回 NK 海底同軸ケーブル中継方式合同委員会 15:30~17:30  
夜, 中井, 湯口, 北村君らと懇談 (独逸亭).
- 3 日 (土) ・ 出社. 資料整理.
- 5 日 (月) ・ KDD 丸 埋設総合試験に東シナ海へ 出航.  
志村取締役, 小林部長, 永田課長ら乗船.  
・ 本社表彰式, 40 年勤続, 20 年勤続, 業ム改善 等.
- 6 日 (火) ・ 日中ケーブル・ケーブル船利用協定案の検討.  
・ 吉田課長に, 日中技専会議 期間中の, OLUHO ケーブル技小委 (5) の準備につき指示.
- 7 日 (水) ・ 吉田課長より, MPT 電監室における AL ケーブル FT の打合せの報告あり.  
・ 日中ケーブル技・業専門家会合の対処方針に関する役員会資料案を, 関部長と共に社長に  
事前説明.  
・ 小関君 ロンドン事ム所長に異動につき, 石川, 柴田君らと歓送 (渋谷)
- 8 日 (木) ・ 役員会へ, 日中専門家会議対処方針を伺い, 了承を得る.  
・ メーカーと, ケーブル推進連絡会. 13:30~15:20  
・ 日中ケーブルの布設工事に関し, KDD 丸の作業上必要な措置を SPT にとってもらう件につ  
き, KCS と打合せ. 15:30~16:15  
KDD 亀田, 木下.  
KCS 広島, 斎藤, 大槻.
- 9 日 (金) ・ 社長, 副社長, 大島常ム, 古橋取締りに, 日中専門家会議出発のあいさつ.  
・ 部長会へ出席.  
・ 日中技術専門家会議の準備打合せ. 13:30~16:30  
・ NEC 田畑氏へ Tel. . .  
OLU ケーブルのケーブル製造期間の変更希望について, その根拠となるいきさつ等をきい  
た上で, 回答したいと連絡.  
・ 東北大同窓会, 小関君の歓送, 新入社員の歓迎. (飯田橋会館).
- 10 日 (土) ・ 出社.  
・ 資料整理.  
・ 上海出張中の処理事項を松田次長に連絡.  
・ 新納君と, 日中ケーブル建設に際しての研究所の協力問題につき, 懇談.  
・ 竹中君より, 郵政 日高参事官との話しをきく.
- 11 日 (日) ・ 日中ケーブル 第 5 回技術専門家会議に出席のため, 羽田 発.
- 12 日 払暁, 北京着. 北京飯店で仮眠.

(月) 北京発 上海着. 日程協議. 夜, 副局長招宴. 上海大厦 泊.

13 日 (火) ~22 日 (木) 会議.

17 日: 上海市博物館.  
18 日: 蘇州遊覧.  
19 日: 上海側端局.  
20 日: 郵電 1 号.  
21 日: 南匯陸揚局.

23 日 帰国  
(金)

24 日 • 出社.  
(土) 線路課ストライキの対策.  
志村取締役に会議の概要報告.

26 日 • 社長, 副社長, 技師長, 大島常務に帰国挨拶と会議の概要報告.  
(月) • OLUHO 技小委 出席者の人選.  
• 吉田課長より, 上海出張期間中の報告あり.

27 日 • 建設本部関係者に, 日中技術専門家委会議の報告と説明の打合せ. 10:15~12:00.  
(火) • OLUHO 技小委 (5) の対処方針案の検討.  
• 早朝にストライキ解除.

28 日 • 日中技専 (5) の役員会への報告の作成.  
(水) • OLUHO 技小委 (5) の対処方針案を志村取締役に説明.

29 日 天皇誕生日.  
(木)

30 日 • OLUHO 技小委 (5) (マニラ) の対処方針案を, 技師長, 副社長, 社長に事前説明.  
(金) • 金門製作所 斎藤 (二郎) 常務 来訪.

## 5 月

1 日 • 志村取締役に, 定期管理表 (副参事) を提出.  
(土) • 永田課長の異動上申を行なうべきかにつき, 小関君とも相談のうえ, 出さないこととし,  
志村取締役の了承を得る.  
• 午後  
KDD 丸への日中ケーブル機材の積込状況, T-T 接続の状況等を視察. (志村取締役に 同行)

4 日 • CW の Mr. Powell, Mr. Slade 来訪.  
(水) • 6 月下旬の IRU 販売会議 (香港) の準備打合せ. 10:00~16:30

6 日 • 役員会に OLUHO 技小委 (5) (マニラ) の対処方針 (案) を伺い, 了承を得る.  
(木) • 日中技専 (5) の報告は, 本日の審議案件が多いため, 次回廻しとなり, 関部長に要約をか  
いて渡す, 徳江線路課長補佐が同席し, 必要あれば補足することとする.  
• また, OLUHO の電氣的布設用設備の手配に対する役員会審議は, 次週にもち越したため,  
説明を小林部長に依頼し, 永田課長を同席させることとする.  
• NEC 斎藤部長より Tel. . . .  
クリマオービガン間のマイクロ設備の入札は, 米の Farinon 社に落ちることになったが,  
なお, ETPI と交渉を続けているとのこと. 理由は, ビガンーマニラ間 300Km のマイクロ

設備が Farinon 社製であるため、保守上ビガンークリマオ間も同社製品を使いたいためとのこと。

- 7 日 (金)
- NEC 田畑氏来訪
  - OLUHO の IRU 販売会議には、メーカーの資料は使用しないことに CW との話し合いがなったことを伝える。
  - CS5M の試作中継器ユニットを、中国から提供を求められている件につき、意見をきく：メーカーとしては、販売したものの処置については、user に委せざるを得ないとのこと、なお、NTT の了解の必要性を示唆される。
  - OLUHO 技小委 (5) の準備打合せ。15:00～16:30。
  - 電氣的布設のため、KDD 丸および南匯への出張者の激励パーティ。飯田橋会館にて、線路課および研究所の関係者と懇談。18:30～20:30。
- 8 日 (土)
- 職員部へ提出する、3 類、4 類、および一般社員の定期管理表等を作成し、松田次長へ提出するよう依頼。
  - OLUHO 技小委 (5) の準備：資料整理。
  - 午後、郵政省電監室 日高参事官宅で、郵政省の新井氏、KDD の井上、竹中君らとブリッジ。
- 10 日 (月)
- 羽田発 15:00 PR421 で、マニラへ向う。
  - 空港へ行く途中、研究所へ寄り、笹本所長に、日中ケーブル電氣的布設工事に對する研究所からの協力を謝意を表す。

※11 日 (火)～19 日 (水)は記述なし。

- 20 日 (木)
- 志村取締役役に、技小委 (第 5 回、マニラ) 会合の様態を簡単に報告。
  - 松田次長より、不在中の状況の報告を受ける。
- 21 日 (金)
- NEC 田畑氏ら関係者の来訪を求め、OLUHO 技小委 (5) の関係事項を説明し、処理を直ちにはかる要のあるものについて、促進方を要望。(9:30～10:00)
  - 新技術開発推進委員会に出席 (13:30～17:00)。
  - 日中ケーブルの KDD 丸布設工事開始に伴ない、連絡班設置さる。
- 22 日 (土)
- 航洋丸乗船中の 田原調査役 発病、上海の病院へ移送するとの連絡が KDD 丸より来る。
  - 直ちに、家族に通知すると共に、勝又診療所長にも連絡。
  - KDD 丸布設工事開始。(14:30)
  - 田原調査役は上海の病院に収容され、手当てを受け、意識を恢復しつつあるとの報により、一旦、帰宅。
  - 夜、電話にて、勝又診療所長より、田原氏の普段の健康状態をきく。大島常務よりも電話あり。
- 23 日 (日)
- 01 時過ぎ、連絡班より電話あり、田原氏の病状悪化とのことで、南匯よりしきりと電話があるとのこと、直ちに、会社へかけつける。
  - 中国側より、田原氏の家族を至急呼びよせる様、要請あるも、夫人のパスポート作成の必要あるため、月曜まで待つ他なし。
  - 中川顧問にも相談。(KCS 広島専務の助言による)。
  - 中国大使館へ、石谷課長を伴ない、パスポートの相談に行く。
  - 田原氏死去の報入る。(15 時頃)。
  - 直ちに、関部長その他応援者を呼び、今後の措置を協議。
  - 志村取締役と連絡し、石谷課長をとりあえず、上海に派遣することとする。
  - 田原家を弔問。

- ・ 9 時過ぎ帰宅.
- 24 日 (火)
  - ・ 田原未亡人来社, パスポート申請手続き書類を日中旅行社員に作成させる. (10:30)
  - ・ 田原未亡人に同行し, 外務省に中川顧問を訪れ, 直ちに, パスポートの作成の口添えを得て, 旅券課で作成. (16:00).
  - ・ 田原氏令嬢 New Youk より帰国し, 直ちに会社へ来る. (17:00)
  - ・ 吉田課長に, OLUHO TSC (5) の役員会報告の件, 等を指示.
- 25 日 (火)
  - ・ KDD 丸の布設が, 底質の固い場所で, 速度を落さざるを得なくなったとのことで, 対策を種々協議.
  - ・ 田原氏遺族に同行し, KDD 代表として上海へ赴く志村取締役を羽田に見送る. (14:00~16:00)
  - ・ 中川顧問にお世話になったことを秘書課長に連絡, お礼の電話をかける.
  - ・ 外務省旅券課長にも, お礼の電話をかける.
  - ・ 夜 9 時迄, 工事状況の連絡本部に詰める.
  - 石谷課長らと電話で各種の連絡.
  - 小林部長に田原氏の件につき, 発病時の状況調査を依頼.
- 26 日 (水)
  - ・ 副社長, 中国大使館へ訪礼 (関部長同行). 11:00 .
  - ・ KEC 松本業務部長より, KDD 社史の編集について説明あり.
  - ・ 上海の石谷課長と電話で各種の連絡.
  - ・ 上海にて, 故田原調査役の追とう式と火葬が執行される.
  - ・ 関部長, 木下課長らと, 職員部へ提出する田原氏発病から死亡に至るまでの経過報告を協議作成.
- 27 日 (木)
  - ・ 朝, 上海の石谷課長より電話連絡あり. 志村取締役, 田原氏遺骨の帰国予定等をきく.
  - ・ 日中ケーブル布設工事は難航しながらも, 順調に進む.
- 28 日 (金)
  - ・ NEC 本郷部長 来訪し, 日中ケーブルの R-30 の修復の件につき, 話す.
  - ・ 石井補佐に, OLUHO TSC5 の役員会報告資料のかき直しを指示.
  - ・ 羽田に 田原氏 遺骨を出迎える. (13:30).
  - ・ 夜, 田原家通夜, 弔問. (18:00~).
  - ・ 会社にて, 連絡本部に詰める. (ケーブル探線).
- 29 日 (土)
  - ・ 日中ケーブル 連絡本部に 1 日詰める.
  - ・ 探線 不成功
- 30 日 (日)
  - ・ 日中ケーブル 連絡本部に詰める.
  - 天候不良のため, 探線作業を行なえず.
- 31 日 (木)
  - ・ 朝よりケーブル探線, 探線機により捕線に成功, の情報入る. (20:00).
  - ・ 板野社長に呼ばれ, ケーブル探線の状況をきかれる (. 18:00).
  - ・ KCS 森社長, 広島専務, 志村取締役と, ケーブル探線不成功の場合の対策を協議. (18:30~)
  - ・ 潜水夫によるケーブル捕線につき, 日本海洋工事より話しをきく. (11:30~).
  - ・ NEC 村上 伝送通信事業部長, 田畑, 本郷氏ら来訪.
  - R30 の SV 発振停止の件につき, 対策を協議. (16:00~17:00).
  - ・ 夜 01:20 まで, KDD 丸との連絡状況をきく.

## 6 月

- 1 日 (火)
  - ・ 庶務部にて, 原田氏の葬儀関係を打合せ.
  - 小林 建設部長名の弔辞を作成.

- 2 日 ・ 田原氏の葬儀に、葬儀副委員長を 小林部長に代り、代行。  
(水) ・ 志村取締役の指示により、田原氏の処遇等について、労厚部長、社長室総務課長と懇談。
- 3 日 ・ 役員会に、OLUHO 技小委 (5) の会合報告。  
(木) ・ 勝又診療所長より、田原氏の労災問題について、検討するための資料入手の依頼あり。  
また、KCS を通じ、KDD 丸船送を勝又所長との連絡をはかる。  
・ KDD 丸 横浜入港
- 4 日 ・ 小林建設部長 に田原氏に関する情況 (処遇等) を伝達。  
(金) ・ 羽田へ、帰国する王建中氏ら一行を見送る。(12:30~15:00)  
・ 日中ケーブル布設 (第 1 次) 工事の問題点の検討と今後の対策につき、KDD、KCS 間の関係者打合せ。(KCS、役員会議室、16:30~19:30)。  
・ 郵政にて開かれた、アルミケーブル方式開発の海洋実験計画の打合せについて、社長に説明を意図したが、次週廻しとなる。  
・ KEC 谷山部長より、「国際海底ケーブル通信」の企画について説明あり。
- 5 日 ・ 出社。  
(土) ・ 雑用整理。
- 7 日 ・ 日中ケーブル第 2 次以降の布設における問題点と対策につき、KDD、KCS 間の関係者打合せ。  
(月) (KCS 役員会議室、9:30~12:30、14:00~16:30)。  
・ OLUHO IRU 販売会議における技術的説明用スライドの作成につき、業者と打合せ。  
・ 日中ケーブル第 1 次布設の際の R-30 (SV 停止) に対する処置について、NEC と打合せた結果の報告が、永田課長よりあり。  
再検査をしたが、現象が再現せず、そのまま、第 2、3 次布設時の予備とし、別途製造の中継器 (9 月完成) と取替後、入念に検査をすることとする。  
・ 夜、研究所にて、IMP Maceh. (井上、竹中、森田らと)
- 8 日 ・ 創立 25 周年の記念行事の一つとして、企画された 社史編集のため、執筆を担務する「海底ケーブル通信」の項の仮目次案を作成  
(火) ・ NTT 九州電気通信局、高橋敏郎局長に Tel. . .  
参院通信委員の苓北視察に随行するための下見として、6 月 16 日~17 日に同局長が苓北工事事務所を訪問する際の扱いについて、本社からとくに誰も行かぬことの了解を得る。
- 9 日 ・ アルミケーブル方式開発のための、海洋実験計画について郵政省で開かれた打合せ  
(水) (6 月 4 日、吉田課長出席) 結果を 社長に報告。  
・ 布設を NTT が分担することについては、了承を得。NTT と仲良くやれとのこと。  
・ 他に、ケーブル開発について、経済化を指向せよとの話しあり  
・ 石川 (恭久)、新堀君と懇談。
- 10 日 ・ 苓北におけるケーブル陸揚工事に際しての、見学者の応待について打合せ。  
(木) 志村取締役、関部長、小林部長、他。(10:00~11:00)。  
・ KEC より発行予定の「国際海底ケーブル通信」に関し、企画、執筆等の要検討事項につき、志村取締役、3 部長間で打合せ。(11:30~12:00)  
・ 清田、小林、安部 (欠席) 氏らの叙勲祝。32F。(18:00~20:00)  
・ 役員異動 新聞発表。
- 11 日 ・ 日中ケーブル第 2、3 次布設に関し、KDD、KCS 間打合せ。(9:30~13:30)。  
(金) ・ OLUHO. IRU Sales Meeting 対処方針 打合せ (国際部 主催)。(14:00~17:00)  
・ 社長室 渉外担当課長、補佐と、参院通信委員苓北視察のスケジュールについて打合せ



(19:00～19:30)

- 12 日     • 三井ビルの 歯医者に行く。  
(土)
- 14 日     • SPT 王建中氏の申し入れにより，第1次布設工事中の二，三の問題について説明。  
(月)       (10:30～12:30).  
          • SPT 王建中氏一行を研究所に案内し，ファックス関係の研究成果を見せる。  
          (14:30～16:00).
- 15 日     • 第1次ケーブル布設工事の役員会報告を予定したが，次回廻しとなり，その後，資料  
(火)       提出扱いとなる。  
          • KDD 丸，苓北陸揚工事，第2次，第3次布設工事のため，横浜を出港  
          • KEC と打合せ（国際海底ケーブル通信），吉田課長同席
- 16 日     • OLUHO. IRU 会議における 技術側説明資料を作成。  
(水)
- 18 日     • 三井ビル，星歯科医院へ行く。  
(金)       • 部長会：塚田課長に出席してもらい，11 時過ぎより交代出席。  
          本日 8 時に苓北でのケーブル陸揚が終了したことを報告  
          • OLUHO. IRU 販売会議で技術的説明を行なうための，スライドが業者より納められ，試写し，  
          テキストを合せて修正。
- 19 日     • 前記 テキストの修正。  
(土)
- 20 日     • OLUHO IRU 販売会議 に出席のため，香港へ向け，出発。Lv. 10:40。  
(日)
- 21 日     • 小調査委員会 ニュー・マーキュリーハウスにて，9:30～12:00。  
(月)       • 午後，食中毒症状を呈し，病院に運ばれる。あとホテルにて休養
- 22 日     リハーサル
- 23 日～25 日 IRU 販売会議
- 26 日     • 香港発 15:00 JL062 で帰国。  
(土)
- 27 日     • 参議院通信委員会 長田，森中両委員の九州地区通信事情調査における，施設案内のため，  
(月)       苓北，長崎へ出張。  
          羽田より大村空港へ飛び，口の津経由で，苓北へ。向う。  
          苓北にて，陸揚局の下見。夕刻，フェリーで，富岡，茂木経由で，長崎市内へ入る。  
          江副部長，吉田船長と会う。  
          小林部長と偶然会い，一緒に夕食をとる。
- 29 日     • 午前中，松尾駐在員の案内で，小ヶ倉千本の旧電信ケーブル陸揚庫を下見。  
(火)       四海楼にて，13:00，通信委員一行を迎える。  
          昼食後 千本のケーブル陸揚庫を案内・説明。  
          長崎市電話局，NHK 等を視察後，雲仙にて泊。

- 30 日 ・ 苓北にて、サテライト局、苓北陸揚局を視察。  
(水) ・ 昼食 後、逋信委員一行を見送り、伊沢所長の案内で、下草を見物後、長崎へ向う。長崎泊。

## 7 月

- 1 日 ・ 長崎より 帰京。  
(木)
- 2 日 ・ 志村取締役役に、逋信委員の視察模様を報告。  
(金) ・ 吉田課長より、不在中の諸事項につき 報告あり。  
1. アルミケーブルの海洋実験計画に対する 社内の対処方針。  
2. 25 年史の委員会の打合せ模様。  
3. 日中専門家会議の対処方針。  
・ 三洋電機 矢川氏（開発研究所長，Tel. 0584-64-2094）より。  
簡易ファックスについて問い合わせ、研究所 特殊課長、端末研究室長に連絡するよう、教える。
- 3 日 ・ KDD 丸の最後の布設状況を知るため出社。  
(土)
- 4 日 ・ 同上、最終接続、最終投入 終了し、日中ケーブルの布設工事 完了す。  
(日)
- 5 日 ・ NEC 関本取締役、村上事業部長、斎藤部長、来訪。  
(月) 志村取締に同席し、日中ケーブルの PFE の障害問題につき、話しをきく。  
その他、保守の訓練等につき、中国側と、協議の必要性につき、話しがでる。  
・ 参院逋信委員の苓北陸揚局等の視察状況につき、報告を作成。社長、副社長、技師長、志村取締に報告。  
・ NEC 本郷氏、OCC 廻氏 ほか 来訪。  
OCC における OLU 区間のケーブル製造工程の変更につき、等化器の品質、作業工程等に、何ら支障のないことを条件に、了承。  
・ 夕刻、海建本部の日中ケーブル布設における連絡班の 慰労宴。
- 6 日 ・ KDD 丸の横浜帰港時の、社長あいさつにつき、関係者と協議。  
(火) 社長に 資料説明。  
また、帰港後の 乗組員慰労宴における予定を、有竹技師長に連絡。  
・ 三井ビル、星齒科医院に行く。
- 7 日 ・ KDD 丸 出迎えに、横浜へ行く。  
(水) 10 時 接岸。10:15 板野社長着。10:45 社長あいさつ。  
11 時 社長 退船。  
12 時より、ホテル・ニューグランドで、慰労宴。  
・ 日隅調査役に、異動の内命。  
・ 松田、吉田 両君と、あとの人事、仕事の分担などを話し合う。
- 8 日 ・ 三井ビル 星齒科医院 11:00。  
(木) ・ KCS 社長による、日中ケーブル布設工事関係者の昼食招待。12:00～14:00。  
・ 社長より、SPT 局長あて、工事完成の祝電につき、関部長と協議し、案 作成。
- 9 日 ・ 日中技専対処方針案、CS-5M 試作中継器ユニットの中国への提供に関する事案決定案に  
(金) つき、吉田課長 と打合せ、作成内容について指示。



- ・ 社長に、SPT 局長あて、電文案を説明、了承を得る。さらに、同趣旨の電文を中国郵電部長あてにも出すよう指示を受く、夕刻、電文 発信。
- 10 日 (土)
  - ・ 出社。資料整理。
- 12 日 (月)
  - ・ 志村取締役へ報告 等。
    - (1) MPT 佐野電気通信監理官に、日中ケーブル布設工事の完了を電話報告。(7/6)
    - (2) KDD 丸横浜帰港時の諸行事(社長あいさつ、技師長パーティ出席)、終了(7/7)
    - (3) 社長の指示で、中国 SPT 局長、郵電部長へ感謝電、発信(7/9)
    - (4) CS-5M 試作品の中国への提供の処理、事案決定書 作成中。
    - (5) 人事異動：日隅君 総企室へ。
    - (6) OLU ケーブルの製造工程の変更に関する OCC の申し出を了承(7/5)
    - (7) LUHO 区間の布設に対する KDD の参加立会者の選定。
    - (8) 日中技専の対処方針案作成中。
  - ・ 人事異動、発令。
- 13 日 (火)
  - ・ 施設課、阿部課長、松本補佐と、南匯における中国側の保守態勢、訓練の要否、システム総合試験実施中に機器の取扱いの習熟をはからせることなどについて、協議。  
15:00～15:30.
  - ・ NEC 田畑、斎藤(文)両氏来訪。日台ケーブルに関し、田畑氏が台湾電信総局の求めで7月初めに訪台し、CS-5M の説明、陸揚点についての意見などを述べてきたと報告あり。
  - ・ 郵政による A1 ケーブル方式の現場実験計画について、来る7月28日の開発会議に臨む前に、対処方針として役員会にかけておく要ありと、志村取締役より指示あり、社長室 小林審議担当課長と協議し、その線で処理することとする。
- 14 日 (水)
  - ・ A1 ケーブル開発のための現場試験計画に対する協力の方針案に関する役員会資料を作成。
  - ・ 王建中氏ら一行に対する副社長招宴。(椿山荘)に出席。
- 15 日 (木)
  - ・ NEC 田畑氏より、南匯での保守者の訓練につき、KDD より南匯に人を派遣する計画の問い合わせ。
  - ・ KDD は、そのようなことは考えていないと回答。
  - ・ 有竹技師長に、AL ケーブルの現場試験計画 に対する協力方針を役員会にかけの旨を説明。
  - ・ SPT 訪日団の答礼 招宴。(ろ山)に出席
- 16 日 (金)
  - ・ 大島常務に、CS-5M 試作品を展示用に SPT へ寄贈する件につき説明し、了承を得る。
  - ・ 王建中氏ら一行、離日。京王プラザホテルにて見送る。(12:50)。
- 19 日 (月)
  - ・ 局所長会議 始まる。
  - ・ 社長に、CS-5M 方式の試作品の中国への寄贈につき説明。  
了承を得る。
  - ・ 局所長会議参加者に対する 会長、社長の招宴。
- 20 日 (火)
  - ・ 局所長会議、海建本部関係 個別打合せ。(11:10～12:00)
  - ・ 22 日にかかる役員会資料を作成。(A1 ケーブルの FT に対する協力)  
志村取締役の了承を得。  
関係役員の了承を求めるよう、関係部に連絡方を、技術課長に指示
- 21 日 (水)
  - ・ 局所長会議 最終日。副社長の話(11:50～12:10)。
  - ・ 大日電線 六戸氏 来訪、食事 を共にし、optical fiber の話をきく。
  - ・ 日中技専(6)の準備打合せを 主宰。(14:00～16:00)

保全、回統、海建の関係者間で、会議日程、資料等を討議

- 22 日 (木) ・役員会に、1. 日中専門家会議 (6) の対処方針。  
2. 新海底同軸ケーブル方式の現場試験に対する MPT への協力方針。  
をかけ、了承を得。  
・日中ケーブル布設工事完成 に対する、関係者の KCS 招宴。
- 23 日 (金) ・部長会に出席。  
・専門家会議に出席のため、来日の SPT 代表を羽田に出迎え。(14:00)  
・京王プラザホテルにて、技術専門家会議の日程協議。(16:30～17:20)  
・夜、KDD 副社長 招宴 (三井 マンダリンパレス)
- 24 日 (土) ・第 6 回 日中技専 開始。(9:30～)。  
・午後 6 時まで討議
- 26 日 (月) ・日中技専 (6) 会議 2 日目。  
・郵政省 電監室 飯島参事官 来訪。(12:00～13:30)。  
志村取締役と共に、7/28 日のアルミケーブル開発会議の下打合せ。
- 27 日 (火) ・日中ケーブル技専 (6) 会議、第 3 日。  
・夕刻、ケーブル障害の報告が入る。
- 28 日 (水) ・日中技専 (6) 会議 第 4 日。  
・新海底同軸ケーブルシステム開発会議 及び 同推進連絡会の第 2 回会合に志村取締役と共に委員として出席。(13:30～15:00)  
・KDD 丸 ケーブル障害修理に出動。(17:00)  
・夜、KDD 丸への組合員 (内海、嶋谷) 乗船の手続きについて、組合本部より抗議があったと、井上取締役より電話あり、永田課長に電話で事情をきく。
- 29 日 (木) ・日中ケーブル技専 (6) 会議 第 5 日  
・組合からの抗議に対しては、関係役員の陳謝で了解をとる。
- 30 日 (金) ・SPT の 4 名 (袁、徐、陳、馬 各氏) を苓北陸揚局に案内のため、羽田から、九州へ向う。  
KDD 側 亀田、吉田、松本 (誠)、塚本 長崎を経て、本渡市、国際観光 ホテル 泊。
- 31 日 (土) ・苓北陸揚局 視察。10:00～15:30。  
・KDD 丸ケーブル捕線、修理。  
・長崎グランドホテル 泊。
- 8 月**
- 1 日 (日) ・長崎市内見学。  
千本の旧電信ケーブル陸揚庫を見る。  
午後 長崎発 空路 東京へ。
- 2 日 (月) ・日中技専 (6) 会議 最終日。  
・夜、SPT 側 招宴。(ろ山。19:00～21:00)
- 3 日 (火) ・朝 ホテルにて、袁氏と、細部打合せ。  
・SPT 代表団を羽田に見送る。(16:15～ CA922)  
・三井ビル、星齒科医院。